

IoT関連（5G、スマートシティ分野を含む）の実装動向等（調査票）

【回答自治体：佐賀県多久市】

事業名	まちづくり協議会かつやく隊が取り組む！上空シェアリングサービス「ソラシェア」の活用によりドローン航行のための空の道を開拓事業
実施期間	令和2年6月17日から現在
概要	<p>令和2年7月16日に多久市は、最先端技術（ドローン）によるまちおこし、住みやすいまちづくりを目指すため、ドローン（無人航空機）を活用した地方創生連携協定を株式会社トルビズオンと締結し、多久市まちづくり協議会かつやく隊（以下、かつやく隊）が行うドローンを活用したまちづくりの支援を行った。</p> <p>10月には、かつやく隊が主体となり、実証実験の内容、空路の設計などを行いドローン配送の実証実験を西多久町で実施した。現状、ドローンの空路については、自由に設計することができないため、かつやく隊が地権者に交渉を行い、空域の利用承諾を得て、株式会社トルビズオンが展開する上空のシェアエコ「ソラシェア」のサービスを活用し、空の道を開拓した。</p> <p>かつやく隊では、2年で10本の空の道を多久市内に作る計画で進められており、現在、街中でのドローン配送モデル（北多久町住宅地）、医療弱者に対するドローン配送モデル（多久市立病院と連携し、医薬品を配送）の2本のルート作りに取り組んでいます。</p> <p>西多久町では、各自治会が組織的に動いて空路の許可取得を進めるなど、ソラシェアへの協力体制を確立している。</p> <p>今後はドローン空路設計のモデル都市を目指し、関連産業の誘致など、地域の課題解決に向けた魅力的なまちづくりへとつなげていく。</p>